

PAT-NO: JP401145764A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 01145764 A  
TITLE: ADDRESS INPUT SYSTEM  
PUBN-DATE: June 7, 1989  
INVENTOR-INFORMATION:  
NAME  
WAKAMIYA, SHIGEKI  
INT-CL (IPC): G06F015/20, G06F015/22

ABSTRACT:

PURPOSE: To simply and correctly input and convert an address by inputting the first sound of a zip code and the name of the place of the address by a user, displaying the selecting a data block including the address from a storing part.

CONSTITUTION: A zip code list in which the read of the zip code and the address are stored and arranged as a sorting key in the sequence of the zip code and the sequence of the Japanese syllabary is previously stored in a storing part 4 and at the time of inputting the address, the user inputs the reading of the first sound of the zip code and the address in the square form of the Japanese syllabary or a Roman character to display the data block including a relevant address and select a target item therefrom. Thereby, it is not required to input all the readings of the address by the user but to simplify an operation for inputting the large quantity of the address such as the formation of a directory.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio

⑯ 日本国特許庁(JP)

⑰ 特許出願公開

⑱ 公開特許公報(A) 平1-145764

⑲ Int.Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑳ 公開 平成1年(1989)6月7日

G 06 F 15/20

3 0 2

D-7218-5B

J-7218-5B

// G 06 F 15/22

7230-5B

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

㉑ 発明の名称 住所入力方式

㉒ 特 願 昭62-305113

㉓ 出 願 昭62(1987)12月1日

㉔ 発 明 者 若 宮 繁 樹 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

㉕ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

㉖ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

発 明 の 名 称

住所入力方式

特 許 請 求 の 範 囲

ワードプロセッサ装置およびワードプロセッサ機能を有するパーソナルコンピュータ装置における住所入力方式において、

郵便番号対応の住所を予じめ記憶部に格納しておき、住所を入力するときには、使用者が郵便番号と住所地名の第1音をカナまたはローマ字で入力し変換キーを操作し、前記記憶部から当該住所を含むデータブロックを表示し選択させるようにしたことを特徴とする住所入力方式。

発 明 の 詳 細 な 説 明

(産業上の利用分野)

本発明は住所入力方式、特にワードプロセッサ装置及びワードプロセッサ機能を有するパーソ

ナルコンピュータにおける住所入力方式に関する。

(従来の技術)

従来のこの種の住所入力方式は、住所の全部をカナ又はローマ字で入力し、それを漢字に変換することにより、目的の住所を得ていた。

(発明が解決しようとする問題点)

上述した従来方式では、住所の全読みを使用者が入力していたが、住所表記には特殊な読みが多く、入力と変換の操作に時間を要し、特に住所録の作成等大量の住所を入力する作業において非常に大きな労力を必要としていた。

(問題点を解決するための手段)

本発明の住所入力方式は、記憶部内に郵便番号と住所の読みを分類キーとして郵便番号順、50音順に分類配列された郵便番号簿をあらかじめ格納しておき、住所を入力するときには、使用者が郵便番号と住所の読み第1音をカナまたはローマ字入力することにより、該当する住所を含むデータブロックを表示し、その中から目的とする項を選択させるような構成にしている。

## (実施例)

次に本発明について図面を参照して説明する。

第1図は、本発明のワードプロセッサによる一実施例を示すブロック図であり、キーボード部1、表示部2、変換制御部3、郵便番号簿記憶部4、印字部5および変換済文章記憶部6から成る。郵便番号簿記憶部4は、第2図にその記憶内容の一部を例示するように、郵便番号に対応する住所データを漢字方式で郵便番号順にあらかじめ格納している。

住所を入力するときには、キーボード部1から、郵便番号であることを示す記号、郵便番号および住所の読み第1音をカナまたはローマ字入力し変換キーを押すと、変換制御部3は郵便番号簿記憶部4内に記憶されている郵便番号簿から、該当する住所の含むデータブロック101を抽出し、表示部2に表示する。第3図は表示内容の一例を示す。このブロックの大きさは、表示部2の表示量によりあらかじめ決められている。

使用者は、表示したブロックの中に目的の住所

データを見出すと、キーボード部1からその選択番号を入力することにより、目的とする漢字表示住所データ102が決定され、変換済文章記憶部6に記憶させる。

表示部2に表示されたブロックの中に目的の住所データが無いときは、再度変換キーを押すことにより連続する次のブロック表示部2に表示されるので、目的の住所表示が見出できるまでこの操作が繰り返される。

第4図は第3図に示したような住所ブロックの表示を得るために、キーボード部1において操作したキー入力の例を示す。

## (発明の効果)

本発明は、以上説明したような構成を採用することにより、住所の入力変換操作が簡単に、また正確に行える効果がある。

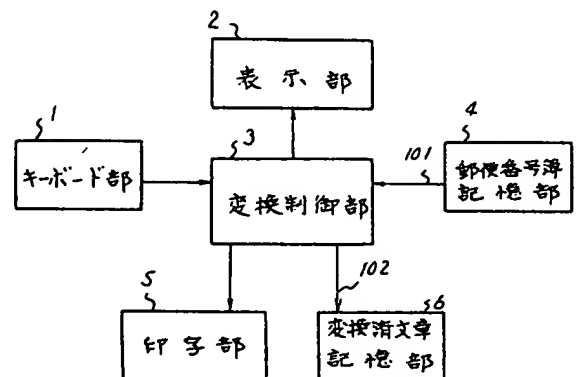
## 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示す図、第2図と第3図は本実施例における住所データ例を示す

図、第4図は本実施例におけるキー入力例を示す図である。

1…キーボード部、2…表示部、3…変換制御部、4…郵便番号簿記憶部、5…印字部、6…変換済文章記憶部。

代理人 弁理士 内 原 晋



第1図

データ番号	郵便番号	住所データ
XXXXXX	922 03	石川県合河町
XXXXXX	922 03	石川県荒木町
XXXXXX	922 03	石川県新橋町
XXXXXX	922 03	石川県宇谷町
XXXXXX	922 03	石川県打越町
XXXXXX	922 03	石川県上野町
XXXXXX	922 03	石川県梶町
XXXXXX	922 03	石川県梶町

第2図

選択番号	郵便番号	住所
1	922-03	石川県 守谷町
2	922-03	石川県 打越町
3	922-03	石川県 上野町

第 3 図

入力順序

(郵便番号を示すキー)  
 9  2  2  0  3  
 い (又は  I )  
 変換

第 4 図